

日本国際看護学会 2020年度 西・東日本研修会報告

開催日：2021年3月14日(日) 13:00～16:30

会場：ZOOMによるWeb開催

テーマ：オンラインで効果的に実施する国際看護学教育のヒントを得よう!!

発表者：大植 崇(兵庫大学) 江角 伸吾(自治医科大学) 鈴木大地(城西国際大学)

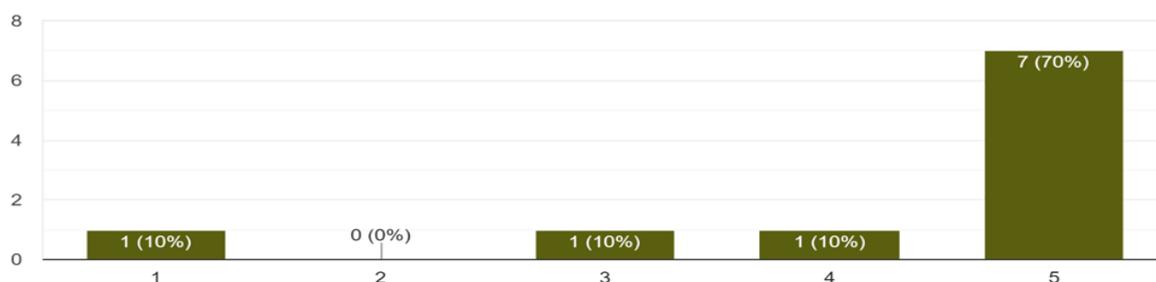
2021年3月14日(日) ZOOMによるWeb開催で「オンラインで効果的に実施する国際看護学教育のヒントを得よう!!」に関する研修会が開催されました。1部はシンポジウムで、2部ではシンポジウムを踏まえて、参加者の皆様に「オンラインでの国際看護学教育について」について考えました。シンポジウムでは、各大学のオンラインを利用した講義及び国際交流について発表され、その後、参加者で意見交換を行いました。アンケート結果から、シンポジウムのテーマは、7人(70%)が適切と回答し、「それぞれの先生方が違う視点でのお話をしてくださり、参考になりました。」などの意見がありました。また、Ⅱ部のグループワークは、ZOOMによるブレイクアウトセッションを使用して実施しました。グループワークの人数や総時間は8人(88.9%)が「どちらでもない」と回答されましたが、満足なグループワークができたという回答がありました。自由記述では「グループワークや発表で様々な情報交換ができた」との意見があり、よりよい情報を共有する機会となりました。

アンケート結果について

1. アンケート集計結果(10名から回答を得た)

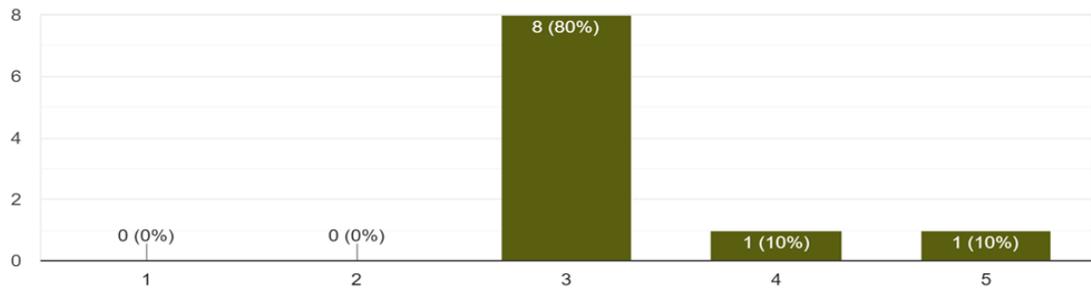
シンポジウムとしてのテーマは適切でしたか

10件の回答



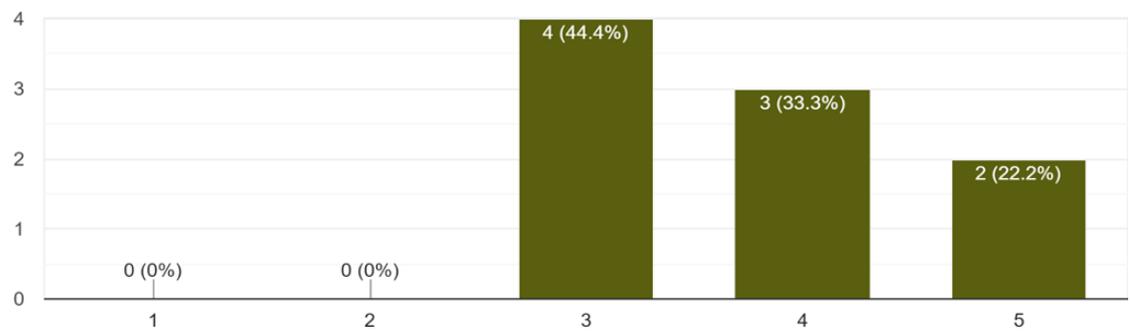
内容に対する総時間は適切でしたか？

10件の回答



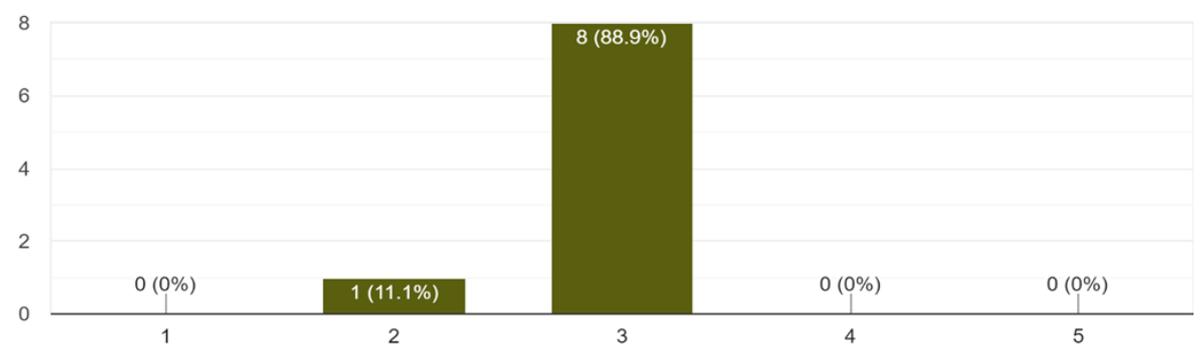
グループワークとしてのテーマは適切でしたか

9件の回答



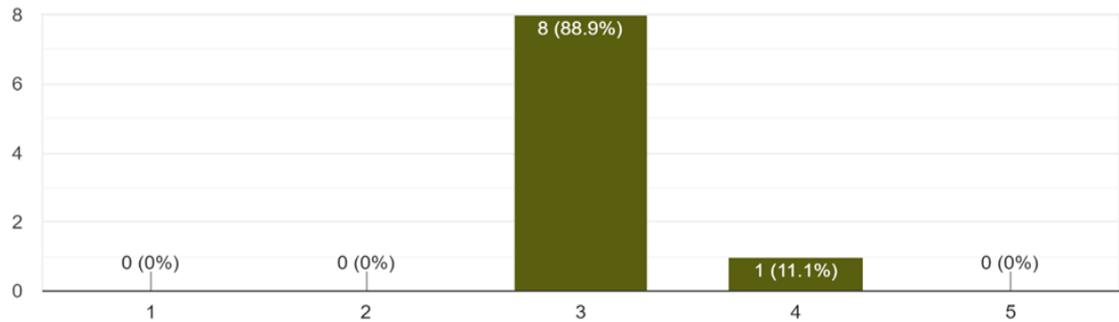
グループの人数は適切でしたか

9件の回答



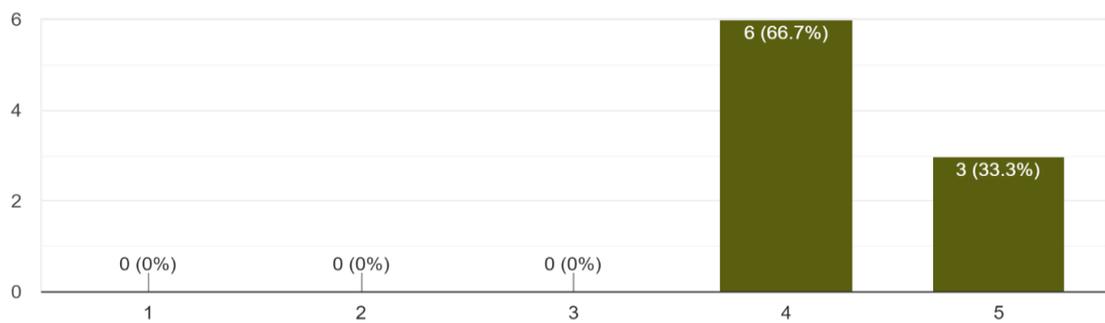
グループワークとしての総時間は適切でしたか？

9件の回答



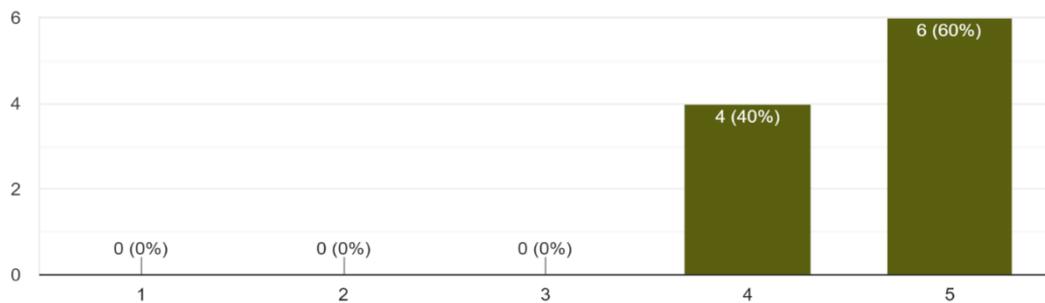
グループワークで満足なディスカッションができたと思いますか

9件の回答



ウェビナー形式の研修会は、対面よりも参加しやすかった

10件の回答



自由記述

- オンラインについていろいろな情報を確保しました
- 授業の構成に役立ちます。研修の工夫にも活かします。
- グループワークや発表で様々な情報交換ができたり、いろんな具体的な方法が出てきていて、これからの授業を考える上でのヒントになりました。ありがとうございました。
- 異文化理解におけるゲームの活用は、是非活かしたいとおもいました。
- 『異文化コミュニケーションワークブック』確認させていただきます。
- それぞれの先生方が違う視点でのお話をしてくださり、参考になりました。
- オンラインだったので、自宅から気軽に参加できました。
- 各先生方の発表もとても参考になりました。
- 初めて ZOOM でグループワークを行いました。私のグループはとてもスムーズに行うことができ、みなさんの意見も伺いながら良い時間となりました。